

令和元年度第 1 回 環境審議会 自然環境部会 開催状況

1 審議内容

- ・現状と課題及び指標の推移（数値目標の達成状況、施策の実施状況、アンケート調査結果）
- ・次期計画の策定方針
- ・今後の審議スケジュール

2 主な意見

（1）数値目標の達成状況における評価の仕方について

- ・数値目標の達成状況については、色分けした施策区分ごとに、**ABCD** がどうであるかという評価をすべきではないか。（金子部会長）
- ・指標の評価について、**A** が何%、**B** が何%というような評価だけでなく、この項目については、5 年間このように取り組み、こういう状況だというような評価の仕方（努力していることを加える等）をしてはどうか。（木村委員・増田委員）
- ・どこができていないのか、どのようにすればできるようになるか、できているところを今後どう伸ばすのか、がわかるような評価の仕方をしてはどうか。（小林委員）
- ・この区分の施策が十分機能していないのではないかと。特に、竹林整備については評価が **B** になっているが、整備が進んでいないのではないかと。（金子部会長・増田委員）

（2）県政モニターアンケート調査結果について

- ・回答内容は年代によって異なるので、年代別に結果をまとめる必要があるのではないかと。（金子部会長）

（3）次期計画の策定に向けて

ア）数値目標等

- ・次期計画の中では、**SDGs** のゴールとターゲットが明確にわかるようにしてほしい。（矢本委員・土手委員）
- ・次期計画の指標については、実現可能性も踏まえて設定したほうがよい。（増田委員）
- ・ボランティア活動に係る指標については、目標を右肩上がりにするのは難しいため、次期計画では指標を見直してはどうか。（増田委員）
- ・森林公園の入園者数は、単年度の目標値にするのは適切ではない。（増田委員）

イ）施策区分「森林資源の活用と里山再生の推進」について

- ・財源をどのように考えていくのが重要である。（小林委員）

ウ）施策区分「暮らしを守るみどりの充実」について

- ・次期計画に向けては、公園行政を一本化するようなことを検討してはどうか。（増田委員）

エ) 施策区分「県民総参加のみどりづくり」について

- ・県民のボランティア活動への熱意が低下している。事務局までボランティアが行うとなると、先細りしていく。(増田委員)
- ・里海の取り組みは盛り上がっているが、森林はそこに上手く関わっていない。(小林委員)
- ・どういうボランティアを掘り起こせていないのか、どういう方が現在頑張っているのかを評価して、県内や近隣の県外も含めて、ボランティアをどう発掘するのかということを検討する必要がある。(小林委員)
- ・アンケートでは、小中学生や保護者の方がどう思っているのかなど情報を集めて、県内の将来を担う若い方をどのように育成していくのか検討する必要がある。(小林委員)
- ・ボランティア活動については、参加することで何を得られるかというところを明確に示すことが重要である。(土手委員・小林委員)